

★SSBにFMに最適変調度を!!

AM-803 固定用 コンプレッサーマイクロホン

コンデンサーマイク+コンプレッサーアンプ+電子スイッチ+マイク切換コントロールスイッチ

AM-803は、HF、VHF、UHFいずれの送信機にも使用出来、歪のない音で、常に最適な変調度を保つための必需品です。単一指向性コンデンサーマイクロホン使用。

定価 ¥14,800



AM-803仕様

- コンデンサーマイクロホン
.....IC内蔵広帯域型
- トランジスタ.....13石
- ダイオード.....2石
- 出力電圧.....0~30mV
- 出カインピーダンス
.....600Ω~100KΩ
- コンプレッサーレベル
(HIGH) : 45db }
(LOW) : 35db }
- マニュアルレベル0~70mV (可変)
- 電源.....単Ⅲ×2
- 消費電流：送信時.....10mA
受信時.....2mA
- スイッチ方式.....電子ロック
- 外形寸法
.....176(W)×110(D)×30(H)
- 重量.....700g

★特 徴★

●3台のリグをワンタッチで切換可能

3台のリグのマイク入力、ロータリースイッチで切換えられます。メーターでマイク出力が直視出来ます。

●高性能コンプレッサーアンプ内蔵

ささやくような声も、破れるような大声も、常に一定の出力レベルで送信できます。FMで最適変調度を、SSBで最高能率パワーで運用できます。さらに、コンプレッサーレベルはスイッチにより、2段(LOW, HIGH)に切換えられます。また、変調度メーター付きですので音声入力がいとも監視できます。

●FM/SSB音質切換スイッチ附加

SSB時にはメリハリのきいた了解度のよい音声にFM時にはスッキリしたソフトな巾のある豊かな音声で運用できるようにスイッチの操作で使い分けができます。

●電子スイッチの採用(送信インジケータ付)

キーボードスイッチの採用によりタッチが軽く、寿命は半永久的、送受の切換時の不快な音がありません。受信時はLEDが薄く送信時にはLEDが点滅します。

●高感度単一指向性コンデンサーマイク・フレキシブルパイプ使用

マイクは高感度、単一指向性コンデンサーマイクを採用、スタンドパイプは特別設計のフレキシブルパイプ(8φ)を採用していますので、使用感がFBです。

●HF、VHF、UHF、いずれの周波数でも高周波の廻り込み対策は完ぺきです。

特約店

ADONIS アドニス電機

〒573-01 本社 大阪府枚方市長尾家貝町1丁目1-10
TEL (0720) 57-8335~6
〒168 東京営業所 東京都杉並区和泉2-17-41
(プラムハイツ内)
TEL (03) 323-2235

AM-803取扱説明書

このたびはアドニス電機のコンプレッサーマイクロホン AM-803をお買上げ頂きありがとうございます。

コンプレッサーとは、音声入力レベルの変化に関係なく出力レベルが一定で、さらにひずみのない装置をいいます。すなわち、入力の数によってボリュームコントロールを電氣的に行っているわけです。一般にコンプレッサーはスプラッターの原因になると言われていますが、うまく設計しておけば逆にスプラッターをなくすことができます。人の音声のダイナミックレンジは実に100db以上あり、マイクの前で大声をはりあげますとコンプレッションのない場合の方がスプラッターをだす恐れが多分にあります。したがってリグとマイクロホンの間には、コンプレッサーアンプの使用が常識となってきています。

各部の説明

①マイク出力切換スイッチ

3台の無線機のマイクを本機1台でコントロールできます。

②マニュアルレベルボリューム

マニュアルレベルスイッチ⑤をマニュアル側にしたときのみ作動します。

③送信表示LED (ON AIR INDICATOR)

電源スイッチ④をONにするとLEDがうすく点灯し、TALK SWITCH(⑥, ⑦)を押して、送信状態になるとLEDがチカチカと点滅し、送信状態になったことを表示します。

④電源スイッチ及びFM/SSB音質切換スイッチ

電源スイッチ④をONにしますと、FMで運用するのに最適な音質になるように周波数特性をスッキリした巾のある音声になるようにしてあります。またSSBで運用するときには、SSB側にセットしてください。この場合の周波数特性は、メリハリのきいたシャキッとした音になります。特にDX時においてその効果を発揮します。

⑤コンプレッサーレベル及びマニュアルスイッチ

●コンプレッサーレベルについて

●HIGH (45db) 小さな声で話したい時、バックが静かな時とか、またマイクから離れた時などに使用してください。
(この時は、TVの音声、ファンモータ、時計の音、その他のバックノイズも同時に入るとはご了承ください。)

●LOW (35db) 普通のQSOに最適です。マイクから10cmぐらい離れても充分な音量でQSOが可能です。

●MANUAL バックノイズが特にひどい時とか、コンプレッサーを使用したくない場合にこの位置にセットしてください。この場合はマニュアルレベルボリュームが作動しますので、最適な変調(レベルメータで0db以下におさえてください)になるまでにボリュームで調整してください。

TALK SWITCH

⑥PTTスイッチ

ショートQSOのときに使用します。ボタンを押すと送信になり、はなすと受信になります。またLOCK(送信状態)を解除したいときに使用します。

⑦LOCKスイッチ

ロングQSOの時に使用してください。ON AIR INDICATOR③が点滅し、送信状態を表わしています。受信にしたい時は、PTTスイッチ⑥を軽く押してください。

⑧単一指向性コンデンサー型マイクロホン

高感度単一指向性コンデンサーマイクを使用していますので、S/N比は格段によくなっています。

⑨変調度メータ

マイクからの音声入力状態を監視できます。特にマニュアルで使用する場合は、メータで常に0db以上にならないようにマニュアルレベルボリュームを調整してご使用ください。

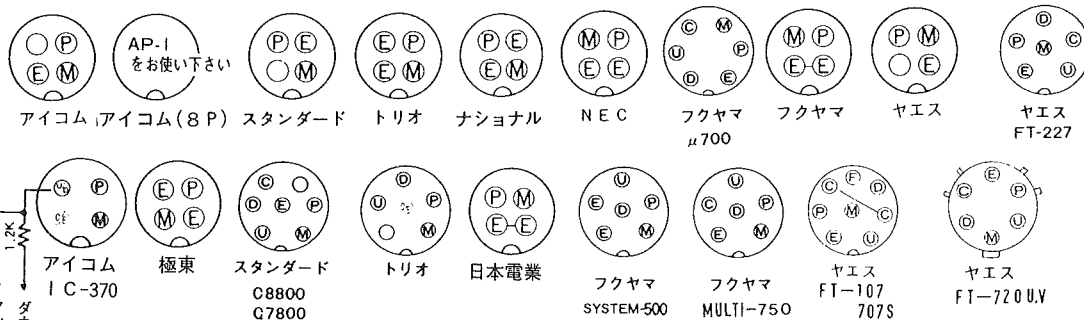
⑩出力コード A, B, Cの3本のコードに下図を参考にして誤りのないように配線してください。なお図はリグ正面から見た図です。

⑪出力調整ボリューム

出荷時には出力電圧は10mV (RMS) に調整してありますが、ご使用のリグによって調整する場合を考え裏面に出力調整用半固定ボリュームの穴が空けてありますので、3%巾のドライバーで注意深くゆっくりと廻してください。

⑫電池フタ 裏面のビス2本をはずし、単Ⅲを2本挿入してください。

●マイクコネクター接続図 (コード側から見た図)



(注) アイコム製リグ(8P)についてはそのまゝではマイクゲインが不足し、使用不可能ですので当社製マイクアンプ(利得30dB) A P-1 (¥2,200) をご使用下さい。

●その他

- 受信時はほとんど電池を消費(約2mA)しませんが、QSO終了時は電源スイッチをOFFにしておいてください。(誤ってLOCKスイッチにふれたりすると連続送信になり、他局に迷惑をかけるおそれがあります。)
- 長時間(約3ヵ月以上)QSOしない時は、電池を本機から取出しておいた方が賢明です。

